

令和2年度事業の概況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中の経済活動が停滞した年となりました。

生活面では、新型コロナウイルスとの共生を想定する「新しい生活様式」が公表され、ソーシャルディスタンスの確保が常識となりました。また、外出自粛要請により旅行や多くのイベントが中止になり、「巣ごもり需要」が増加しました。

働き方の面では、テレワークが一気に普及し、時差出勤や在宅勤務が日常となり、ウェブ会議が定着しました。

当組合では、新型コロナウイルスの感染拡大により、一時的に資金繰りに支障をきたす医療機関が見られたことから、富山県の制度融資に加え、特別融資を発売して、先生方の資金需要に応えました。

第三次中期経営計画では、『医療界のベストバンクを目指す』として、先生方に的確かつ迅速な金融サービスを提供してお客さまの満足度向上を図ることとしております。

当組合としましては、先生方のお役にたてるよう、預金金利は出来る限り高く、貸出金利は出来る限り低く設定しております。その結果、令和3年3月末の実績につきまして、預金の年間増加率は3.88%となり、安定的な増加を図ることができました。貸出金につきましても、年間増加率は3.83%と増加を図ることができました。収益につきましては、コア業務純益が128百万円となり、僅かながら前期を上回ることができました。経営体力につきましては、自己資本比率は26.19%と高い水準を維持しております。組合員数につきましては、年間で37名加入しましたが、56名の脱退があり19名減少しました。

今年度も、当組合の使命達成のため邁進したく、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

主 要 勘 定	当期末(3.3.31)	前期末(2.3.31)	増 減
総 預 金 (期中平均残高)	36,657 (35,731)	35,290 (34,736)	1,367 (995)
総 貸 出 (期中平均残高)	6,548 (6,433)	6,307 (6,244)	241 (189)
有 価 証 券 (期中平均残高)	24,991 (23,659)	23,561 (22,926)	1,430 (733)
預 け 金 (期中平均残高)	14,926 (14,312)	13,922 (12,990)	1,003 (1,322)
コア業務純益	128	127	1
経 常 利 益	124	159	△35
当 期 純 利 益	88	114	△26
自 己 資 本 比 率	26.19%	26.19%	0.00%
組 合 員 数	1,320 先	1,339 先	△19 先

富山県医師信用組合